

縁をつむぐ国際協力

特定非営利活動法人 JIPPO (十方)

特集

行ってきました！スリランカ・スタディツアー

2010年夏のJIPPOスタディツアー「スリランカ 仏跡と茶園の旅」を8月19日(木)～8月26日(木)の日程で行いました。今回はその旅の記録をお届けします

8月19日朝、ツアー参加者総勢19名、元気に関西国際空港に集合しました。JIPPO常任理事の幸田昌三さんを団長に、遠くは沖縄、佐賀、富山、東京からの会員のほか、龍谷大学の学生9名、本願寺新報の記者も同行取材されました。

今回のツアーのテーマは「豊かさとはなにか。心で感じるフィールドワーク」です。書物だけでは分からない人々の暮らしや思いを感じ考えようと、次々と出会う初めての光景にわくわくしていました。

旅の前半に訪れたのはスリランカ2000年の仏教の歴史を垣間見る遺跡や祭りでした。

スリランカ・スタディツアー旅程表

	月日	訪問地	内容
1	8/19(木)	関西空港 コロombo	関西空港 11:45発 コロombo国際空港 20:45(現地時間)
2	8/20(金)	シーギリア	午前 シーギリアへ移動 午後 シーギリア博物館 見学 シーギリアロック 登頂
3	8/21(土)	ダンブラ キャンディ	午前 ダンブラ石窟寺 見学 スパイスガーデン 見学 夕刻 ペラヘラ祭 見学
4	8/22(日)	キャンディ ハプタレー	午前 ペラデニア植物園 見学 午後 ハプタレーへ移動
5	8/23(月)	ハプタレー	午前 グリーンフィールド 見学 午後 リプトン加工場 見学
6	8/24(火)	ハプタレー コロombo	午前 ハプタレー幼稚園竣工式 昼食 市長主催昼食会 午後 アディシヤム修道院 見学
7	8/25(水)	コロombo	終日 コロombo自由行動 コロombo空港25:40発
8	8/26(木)	関西空港	関西空港 18:30着 解散



スリランカ初日のホテル前で

スリランカ地図





シーギリアの前で

2000年の歴史を今に見る 仏教遺跡の数々を堪能

「ライオンの岩山」という意味のシーギリアと呼ばれる高さ195メートルの垂直に切り立った岩の頂上に1500年前の王宮の跡があります。ジャングルの中に忽然とそびえる奇岩城、中腹に岩がひさしのように張り出してい



壁画の美女たち

るところがあり、その壁面に艶やかな女性たちが描かれています。有名なシーギリアレディ。千年以上経ったものとは思えないほど鮮やかに色彩が残り、あたかも今その時代に自分が居るかのような気さえました。

この地方は大きな貯水池が随所にあり、統治の歴史は灌漑の歴史でもあります。雨の少ないこの地では未だインフラ整備が整わず毎日女性が水汲みに行くのだと聞き、贅沢な観光施設と差のある民衆の生活を知り心が沈みました。

2日目の夜、私たちは古都キャンディの祭りの熱気の中にいました。このペラヘラ祭は仏歯を乗せた象が市内を練り歩く年に一度の大きなお祭りです。中

JIPPOフェアトレード 紅茶の産地ハプタレーへ

後半、JIPPOが支援する紅茶農園のある中央高地、ハプタレーへ向かいました。

今回、宇治茶による地域おこしに取り組みJIPPOの紅茶も販売している龍谷大学経済学部の伊達ゼミの学生5人がツアーに参加し、熱心にフェアトレードの現状を研究しました。特に有機無農薬栽培の「グリーンフィールド」とそうでない農園とを比較し、労働者の生活やフェアトレードで建てられた施設を見て回ったのは意義深かったです。

有機・無農薬の農業は手間もかかり収穫量も安定せず栽培の制約も多くて労働者は貧しい暮らしをしています。人々がどうしたら十分な収入を得ることができるのか。フェアトレードをする上で、有機・無農薬の高い品質に見合った付加価値をつけることも大切でしょう。JIPPOとして労働者一人ひとりに還元される事業を考えていかなければと思いを新たにしま

ダンブラ石窟寺の涅槃像に祈りをささげる人々



仏歯寺をお参り





茶園で説明を聞く参加者
(上)。加工場ではティーテイ
スティングも(左)



幼稚園の竣工式に参加

今回のツアーは特別な目的がありました。「ハプタレー幼稚園の竣工式の参加」です。JIPPOが本願寺たすけあい募金の寄付をいただいて増築した園舎が遂に完成したのです。

園舎には子ども用トイレや手洗い場が新しく作られ、明るいタイルが張られて手を洗うことが楽しくなりそうです。グラウンドも整地され、修理した遊具は鮮やかな色とりどりのペンキで塗られていました。建物から外側に張り出して増築されたステージは市民の集会にも利用されるそうです。

竣工式は市を挙げて行われ、私たちは鼓笛隊の先導で幼稚園



園児へプレゼントを渡す幸田団長

に入り、子どもたちの大歓迎を受けました。幸田団長と中村専務理事によるテープカット、記念植樹に続き、式典では市長や州議員ら地域の要職のほか、仏教、ヒンズー教、イスラム教、キリスト教の各宗教施設の代表が来賓として壇上に並び、祝辞を述べられました。日本と異なりさまざまな宗教をもとに生活が成り立ち、それぞれが共存し尊重し合っていることを実感した式でした。



茶園労働者の住宅を訪問

JIPPOからは幸田団長がお祝いの言葉を述べ、3月に実施した幼稚園教諭研修の修了証書を教員一人ひとりに手渡しました。約2時間の式典を終えた後、子どもたちと日本の遊びで交流しました。けん玉や折り紙で日本人の周りには子どもたちの人垣ができ、時間のたつのがあっという間でした。もっと十分な時間があれば残念に思いました。次回は幼稚園やフェアトレードの集会場を使って子どもたちともっと触れ合いたいと思います。

こうして8日間のツアーは無事全日程を終え、新鮮な驚きと感動、新たな問題意識をたくさん持ち帰ってきました。スリランカの人々の笑顔に迎えられた夢のような旅から現実の生活に戻ってしまいましたが「これまでの自分の生活やこれからすべきことを見直し、新たな気持ちになった」という声が多く聞かれました。



幼稚園全景

カフェ・ティモールの産地を訪ねて

東ティモールにとって「コーヒー」は唯一の輸出作物といわれ、国づくりを支える主要な産業です。生産者がより安定した収入を得られるよう、日本のNGOの支援で2004年に誕生した「マウベシコーヒー生産者組合（ココマウ）」。JIPPOのフェアトレードコーヒー「カフェ・ティモール」はここから買い付けています。

農薬や化学肥料を使わず自然農法で栽培され、6月からの収穫期を迎えた真っ赤なコーヒーチェリーは、家族や地域の人々で協力し手作業で一粒ひとつぶ丁寧に摘み取られ、選別、加工されます。

かつては「実を摘むだけだった」人々は組合によって生産者の誇りと向上心を持ち始めました。「日本の皆さんと一緒にさらによいコーヒーを作っていきたい」。農家の力強い言葉に、私たちも消費者として彼らを支えていかなければと感じました。

JIPPO事務局 高木美智代

(2010/8/27～9/6 パルシックスタディーツアーによる東ティモール視察。写真は宿泊したコーヒー農家)



日本人も選別作業を体験(上)。コーヒーの収穫(左下)と乾操作業(右下)

緊急イベント情報～カフェ・ティモールの国から～

音楽ドキュメンタリー映画「カンタ！ティモール」試写会&

エゴ・レモス ライブコンサート 開催決定！

東ティモールの独立、人々の許す心を描く感動の映画の上映と東ティモールの魂を歌うミュージシャンのコンサートです。

日時： 2010年10月28日(木) 午後5時～8時

場所： 龍谷大学アバンティ響都ホール

(JR京都駅八条口前 アバンティ9階)



～事務局だより～

7月より事務局に加わりました山田です。主に、フェアトレード、広報を担当しています。龍谷大学法学部政治学科4年生です。東ティモールという国は知っていましたが、コーヒーが特産物だとは知りませんでした。香りも抜群です。ぜひ一度JIPPOのカフェティモールご賞味ください。(や)

JIPPO会報第3号 (2010年10月1日発行)

発行： 特定非営利活動法人 JIPPO

〒600-8501 京都府京都市下京区堀川通花屋町下る
本願寺門前町本願寺内

TEL : 075-371-5210

FAX : 075-371-5240

e-mail : office@jippo.or.jp

URL : <http://jippo.or.jp>